



認定特定非営利活動法人

ぶどうのいえだより



編集・発行人:堀内 昭 〒113-0032 東京都文京区弥生 1-3-12
TEL 03-3818-3362 FAX 03-3818-3392

No.68 2014年 夏

「何が必要か？それは当事者が一番知っている」と思いがちです。また、福祉活動とは秘かに人知れず行うものとも思われがちです。が、本当にそうかな？と時々考えます。

痛ければ治して欲しい。貧しければお金が欲しい。のですが、それだけでは満たない、満たされない事は沢山あります。

周りには胸が痛む出来事や手を差し伸べたい様々な事象があります。ですが、そのほとんどは支援者として関わる事も、傍に寄り添う事も出来ません。でも、本人は何が必要かな？と想像することは出来ます。その一つを発見し実行されたのが「認定NPO法人ぶどうのいえ」が取り組まれている、難病児治療の為に上京された親子への滞在施設提供であり、正に「何が必要か？」を受け止めた事業であると敬服します。

私たちのエリザベス・サンダース・ホームが設立したのは1948年。混血孤児と言われた進駐軍との間に生まれた子どもとその親への福祉事業でした。それは正に、その当時必要と思われた出来事に差し伸べた手だったのだと思います。その子供や母親が、常に欲しかったのは食物であり、お金だったでしょう。でもエリザベス・サンダース・ホームの存在を知って求めたのは、蔑まされて後ろ指を指されない、安住の場だったのだらうと思います。「そこに預ければこの子が人間として安心して育てられる」その創設者澤田美喜のそのメッセージを求めて来られたのだと思います。

実はこのメッセージは混血孤児の親にのみに秘かに伝わったのではなく、当事の日本人々に広く伝わり関心を持たれました。今でも60代以

上の多くの、福祉とは直接関係のない人達までもサンダース・ホームの名は記憶されています。「何故か？」それは一つには「その親が、その子供がもしかしたら自分だったかも知れない」という思いでしょう。もう一つは、その親子に手を差し伸べたい（なんとかしてあげたい）という周りの人達の思いを実現してくれた人と澤田美喜を認知したからなのだと思うのです。

澤田美喜は「何が必要か」を思った時、それはこの親子の「人としての尊厳」と思ったのだと私は思います。「貴女の代わりに私たちが育てる。貴女は貴女の自分の生き方を見つけなさい」美喜は預けに来た親にそう言ったそうです。この言葉は一見母親の義務の放棄を増長する、または、後ろめたさを理解しない言葉のように感じます。しかし、ズルズルと罪悪感を引きずり、しかも当時の貧困社会を女が一人生きて行けない。むしろ「子どもを断ち切って貴女の人生を歩きなさい」と親には伝えようとしたのではないかと思います。

ここに、「真に必要なものは何か？」を美喜は見つけたのではないかと思います。

福祉とは真に必要なものの発見と、実行であり、更にしっかりとその目的と方向をメッセージとして伝えてこそ意味あるはたらきがなされるのではないのでしょうか。

「ぶどうのいえ」のはたらきも、多くの方々に知られ、支えられ、これからも益々意味のあるものとなりますことをお祈りいたします。

(エリザベス・サンダース・ホーム施設長)

今
必要
な
もの
を見
つけ
よう
！

石井健一

「ぶどうのいえ」に ようこそ!

月曜ボランティア

小川・西田・堀内紀

「ぶどうのいえ」の受付からは、ロビーのソファをはさんで、玄関入口が真正面に見えます。滞在者やスタッフ、郵便屋さんや宅配業者、訪問者などが出たり入ったり。

受付として目を配るのは月曜に限ったことではありませんが、週の初めなので特に気を遣います。

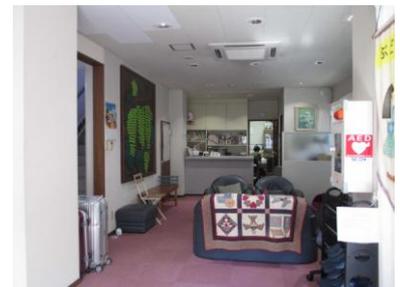
予約の電話は、不思議に重なる時と、故障かと思うくらい鳴らない時があります。なぜか、夕方の5時直前に集中して、スタッフ一同バタバタすることも。

スタッフは2人の週と3人の週があります。お昼の時間には受付裏のボランティア室で和やかにお弁当を食べ、お茶を飲みます。でもドアは閉めません。いつでもスタンバイしています。

暑くなり、庭のゴーヤーが繁ってきました。蚊も飛んでいます。玄関から入って困るのはこの蚊だけ。虫除け対策の季節です。(堀内紀)



玄関



ロビーと受付



自転車

電動自転車と普通の自転車、計5台、滞在者が買い物などにご利用できます。近隣には坂道もあるので、電動が喜ばれます。

これは何でしょう?

1F ロビーにある棚で、非常食などの災害用品が入っています。時々点検し、賞味期限などを確認します。



滞在者用パソコン

誰でも使えます。お子さん達にはもっばらゲーム機となっています。



火曜ボランティア

荒川・水落・三井

男性1人、女性2人のグループです。以前はもう少し多かったのですが、引越や高齢などの理由で人数が減り、3人となりました。

事務局長以外では唯一の男性スタッフは、朝早くに1Fフロアに掃除機をかけ、10時に女性1人がスタンバイすると同時に、外へ出ます。玄関、庭、外周りを2時間以上かけてきれいにします。草取りや花壇の花や野菜の世話も一人でこなします。冬は寒さと、夏は蚊と戦いながら「なんの、なんの」とニコニコ。12時に奥様手作りのお弁当を口にすると、午後は2Fフロアの掃除、ゴミの始末。さらに部屋の掃除や準備まで。もちろん受付業務もOKで、滞在者さんの要望にも対応します。こうして書いていると、あらためてすごい人だなあと感じます。

女性1は主に受付、電話対応、シーツ類の管理などの事務仕事をします。本当は少しはパッチワークも出来るのですが、今は事務に徹しています。昼食以外は受付デスクにいて、玄関を出入りされる滞在者さんと言葉を交わします。

女性2はスタッフの中で一番若く、そして実はドクターです。午後の短い時間ですが、仕事の合間に来て、会計をこなします。滞在者さんの、日頃聞けないドクターへの質問にも丁寧に耳を傾け、アドバイスもします。時には体調を崩された方の支えにもなります。風のように現れ、風のように職場に戻って行く彼女のパワー、笑顔、共感する姿勢は館内に明るさと安心感を与えてくれているように思います。

ボランティアを始めてみたい方をいつでもお待ちしております。一度、見にいっしょにませんか。(荒川)



ロビーのソファ



昇降リフト



部屋

水曜ボランティア

金井・早川

ちょっと寂しい水曜日組です。というのも、満井美子さん、杵村啓子さん、堀楚乃子さんの3名がいろいろの事情でお休み中で、今は、早川和子さんと私・金井玲子の2人。勢力的に動いて下さるのは早川さん。

布巾の交換・洗濯・2階のシンク回りの掃除、大掃除などなど。不肖金井はただウロウロするばかりで・・・。

そんな状態を滞在者の方々が察して下さっているのか、水曜日は外部からの電話もなく本当に不思議です。そして早川さんのもう一つの顔はなんとと言っても手芸の天才。どんな小さな布でも彼女の手にかかると思いもよらない品々に変身してしまうのです。お見事です。

もう一つ、毎月第3水曜日午前中に、大掃除班・内ヶ崎昌子さん、鈴木ゆう子さん、西田恵子さん、森清和子さん、小林ひろみさん、伊藤麻美さん方が2階の掃除をして下さるので感謝しています。

(金井)



食堂



キッチン



庭とぶどう棚



玄関前の庭



リビング

木曜ボランティア

荒木・内山・梅田・吉田

「お気を付けて、行ってらっしゃい」
 「行ってきます。ところでこの赤い花の名前はなんですか？」
 「???・・・調べておきます。」

ある木曜日、朝のひとコマです。

「ぶどうのいえ」の前庭には、四季折々、様々な花が咲き香ります。

「お帰りなさい。あの赤い花、沖縄の島唄にあるデイゴでしたよ。」

「あれが、デイゴですか。初めて見ました。秋田にはありませんよ。」

この言葉に、仙台出身の梅田さんは、頷いています。

「ア～そうなんですか？」

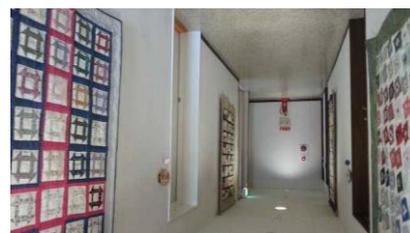
と福岡出身の内山。

東京で、滞在者の方を真ん中にして、東北と九州出身のボランティア2人が沖縄の花を話題にするとは。

全国各地からご利用戴いている「ぶどうのいえ」ならではの会話といえます。そして第一木曜日には滞在者データ作成担当、東京出身の荒木さんが加わります。吉田さんが今のところお休みなので淋しいですが。

これからも、地方色を出して、和やかな雰囲気作りを目指していきます。

どうぞ、よろしく願いいたします。(内山)



廊下のタペストリー



物干し台から見えるスカイツリー

金曜ボランティア

金井・椎橋・樋口・堀

何でもござれの金曜日班ですが、特に手芸や縫い物が得意な4人姉妹です。

80代、70代、60代、50代とバランスも良く、ぶどうのいえオープン当時から続けているベテラン3人に、70代の私が入れていただき、少しでもお役の立ちたいと心がけているところです。今では私にとってもぶどうのいえは第二の我が家になりつつあり、これも有難いことと感謝せずにはられません。

この私がこの年で、こんなに有意義な取組に参加させていただける幸せを思い、これからも頑張りたいものです。(堀)

土曜ボランティア

井口・岩竹・高橋

ずっと変わらないボランティアメンバーでしたが、パッチワーク、事務処理、何でもできる50代の方が加わり活気づいてほっとしました。そして又、最近では高校2年生の女子学生が学校と部活を終えかけつけてくれます。

毎週土曜日一緒にいるだけで楽しく、気持ちも若返ります。どうぞ一度おいで下さい。ボランティアやりたくなりますよ。(岩竹)

事務局長・渡邊 誠氏

パソコンはプロ並みで、電気関係もお手のもの。
ぶどうのいえの顔として、対外的には役所関係、業者対応、
内部では会計、修理、スタッフへの協力などで大忙し。
週2回の勤務ですが、とても頼りになる方です。

**ボランティア募集**

活動時間は月曜から土曜の10:00~17:00です。

半日だけでも結構です。ご相談に応じます。

まずは、見学にいらして下さい。お待ちしております。

電話 03-3818-3362

**★ あいこうございました**

(順不同・敬称略)

磯部雄彦 尾松純子 新木恒彦 折井利彦 小楠壽典 山形寿太郎 岩村政子 菊地悦子 渋谷聖公
会聖ミカエル教会姉妹会 吉永道子 森淑子 内ヶ崎儀一郎・昌子 大西健之・六生 奥野貢 奥野
央人 前田美穂 梅田晶子 岸まち子 山崎慶子 林秀雄 樋口里子 橋本恵理子 堀楚乃子 樋口
扶美子 小田原聖十字教会日曜学校・花園幼稚園 匿名 松角恭子 椎橋照子 大春明子 宍道多麻
子 宮川ユリ子 日立キャピタル(株) 日立製作所(株) (株)日立ソリューションズ (株)日立アーバンイン
ベストメント (株)日立国際電気 松戸聖パウロ教会 水落紀世子 岩竹節子 岩田房子 金井玲子
新生礼拝堂 戸塚泰子 佐藤武雄 匿名 親切会関東支部高田佳昭 匿名 (株)日立ビルシステムズ
日立マクセル(株) 大島とも子 幼きイエスの会ノエル会 中村久子 六角祐子 東松山聖ルカ教会清
野隆 漆山愛子 堀楚乃子 聖オルバン教会 賀来秀文 宮川裕子 目白聖公会イクスディア 立教
池袋中学校・高等学校鈴木弘 梅澤美和子 大久保えま子 栗田隼如 岡林ゆみ子 グループ HIT 辻
育美 樫山真知子 南部春海 堀内昭 大隈廣 岡野峻 東京聖マリア教会 大森聖アグネス教会
聖パウロ教会 東京諸聖徒教会 池袋聖公会 月島聖公会 清瀬聖母教会 八王子復活教会 聖パト
リック教会 聖マルコ教会 小金井聖公会 三光教会 聖マーガレット教会 葛飾茨十字教会 磯貝
敏幸 荒牧清美 浅草ヨハネ教会大森明彦 渡邊誠 倉敷信 堀楚乃子 椎橋俊之 立教女学院 島
袋諸聖徒教会 島治伸 小林友江 大西健之・六生 橋本祐之 匿名 土屋賢一・しのぶ 加藤季美
枝 森本晴生 椎名貴世子 東京聖テモテ教会ケーキ班 飯田満喜子 森田利光 矢代捷 小川尚子
(株)日立ドキュメントソリューションズ 須賀悦子 倉辻明男 山王丸豊 聖アンデレ教会 聖パウロ
教会 聖ルカ礼拝堂 東京聖三一教会 練馬聖ガブリエル教会 滝川輝子 山口学・照代 姉川博子
目白聖公会婦人会 大隈廣 南みよ子 中島雄一 横倉正義 大西健之・六生 渡邊厚子 鳥海千里
八巻順子 近澤淑子 小金井聖公会食事会 立教女学院高等学校 匿名

(2014年1月1日~6月30日)

(一部前号と重複)

★ あいこうございました

長内英樹様	銘茶・蕎麦・アリエールホームセット
セカンドハーベスト・ジャパン様	ビタミンペットボトル・保存用パン・クイックココア・マッシュルームホール・ざるそばつゆ・パン・スポンジ・コーヒー等
竹内朋子様	食器 お雛様人形
アンジー遠藤様	袋等
鈴木友香様	レターセット
文京区社会福祉協議会様	洗剤
松井沙也香様	文房具
小林尚子様	食器 タオル
小林陽司様	雑貨
岩崎明美様	羊羹
岡本祐子様	菓子 郵便切手
八木陽子様	菓子
セカンドハーベスト・ジャパン様	からめる麺リース・オリーブオイル・米
匿名	タオル (2014年4月1日~2014年6月30日)



「ご自由にどうぞ」2階食堂に

お知らせ

前回でご案内した堀江真理子氏のチャリティーコンサートは都合により中止になりました。

秋の大バザー

日 時：2014年10月19日（日） 11：30～14：00
 場 所：東京聖テモテ教会ホール ぶどうのいえ1階・2階
 バザーを開催いたしますので、皆さまお誘い合わせの上、お出掛け下さい。
 9月より献品をお受けします。衣類はこども服のみとなります。
 今年もよろしく願いいたします。

尾松純子語りの世界

日にち：2014年12月13日(土)
 場 所：東京聖テモテ教会礼拝堂
 担 当：ぶどうのいえイベント事務局。 詳細は次号でお知らせします。

認定 NPO 法人 ぶどうのいえ

ホームページ <http://www.budounoie.jp/>
 E-mail info@budounoie.jp
 郵便振替口座名 特定非営利活動法人ぶどうのいえ
 郵便振替口座番号 00120-2-540161